

嵯峨の福祉

第132号

嵯峨自治会連合会
嵯峨社会福祉協議会

迫りくる防災に対するの備えと知識

今年は春から地震が頻発し、梅雨は最短で明けその後は猛暑が続き台風も襲来しています。コロナ禍も安心できる状況ではありません。これまでの「京都は四神に守られている」「自宅にいれば何とかなる」では通用しない自然の脅威がまじかに迫っています。

今号では、10年前から渡月橋上流の洪水対策に取り組んでこられた身近な事例をもとに今1度ご自分の事として防災を考えて頂きたいと思います。



国交省提供
特別警報第1号 2013年9月の台風18号に伴う大雨

ご存知ですか? 国内第1号 嵐山可動式止水壁



可動前



可動後

(止水壁が上がる動画を下記QRコードからご覧になれます)

2013年9月の台風18号ならびに2018年7月の大雨・洪水に伴い特別警報が発令、渡月橋限界が冠水したことは記憶に留められていると思います。この間10年近くに渡って、『防災と景観(観光)』を両立させるという難題に立ち向かってこられた嵐山保勝会事務局長の早田 一郎さんに「可動式止水壁」完成までの経緯とご苦労をお聞きしました。

当初、国の考え方は「堤防ありき」。それに対し地元は「堤防を作らない景観保全重視の対策」で議論は平行線でした。そんな中、国の案を検証すべく1.5mの堤防を段ボール模型で実際に作ってみました。これには国も違和感を持ち、ここから『防災(安全)と景観保全』の実現に向けて歩み寄りが実現しました。

この可動式止水壁は、固定部が最大70cm、可動部が約80cm合計で1.5mになります。(写真の通り)デザインも固定部は石積みで歩道、自然との調和が図られています。

1級河川では全国初で、専門家からも「嵐山は特別」と言われています。ただし管理と非常時の作業は簡単ではありません。この止水壁の引上げは油圧で行いますが、1枚1枚手作業が必要です。京都市建設局の職員の方が10人がかりで行っても2時間程度かかります。また平常時に戻った際の引下げも同様に人手を要します。

国交省一京都市建設局一地元保勝会が三位一体となって完成したプロジェクトですが、今後もこれを維持していくため関係者のたゆまぬ努力が必須です。

各自の日頃の備え

非常持ち出し品：すぐに持ち出せるようリュックなどに必要最低限のものを用意

普段から飲料水や非常食を備蓄しておくことが大切です。

災害発生時は一時的に物流が止まります。最低3日分は備蓄しておきましょう。



本年の嵯峨学区防災訓練について

《9月18日(日)》

コロナ禍で2年間実施できなかった防災訓練を実施します。

各自治会から防災部長を加え3名の参加です。嵯峨消防分団が総括、各種団体が担当し「避難所での受付・誘導、段ボールベッド・ワンタッチテントの作成、心肺蘇生とAEDの使用法、発電機・簡易トイレ組立、炊き出し訓練」等を行います。

～今回132号より『嵯峨の福祉』は、右京区社会福祉協議会のホームページにカラーで掲載されています～



『嵯峨小学校の創立150周年のお祝いに向けて』

京都市立嵯峨小学校創立150周年記念事業実行委員会

嵯峨小学校が創立150周年を迎えるにあたり、地域の皆さまや卒業生の方々からたくさんのご寄付をお寄せいただき、ありがとうございます。皆さまの思い、大切にに使わせていただきます。

記念事業としまして、「記念式典」「記念展示会」「記念誌の作成」「児童が手がける記念品の作成」「資料展示物の整理・修復」「小学校備品の記念寄贈」「地域の皆さまへの記念品の作成」等を考えております。「記念植樹」におきましては、地元の造園関係の方々を力をお願いし、注いでくださる予定です。

このように児童や地域の皆さまでつくり上げる温かい記念事業を行い、嵯峨小学校に関わる全ての皆さまの心に残る創立150周年記念にしたいと、実行委員会で検討し進めております。

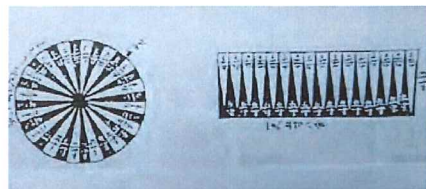
角倉了以翁を讃え偲ぶ会開催

6月3日（金）に亀山公園の銅像前で開催されました。当日は雨の季節にも拘らず晴天に恵まれ、顕彰会会長で二尊院住職の羽生田さんのもと法要は厳かに執り行われました。

角倉了以（1554～1614）は、ご存知の通り江戸初期の豪商で、難工事であった保津川の開削工事を完成させるとともに高瀬川の開削も完成。農作物の運搬に格段の利便性をもたらしました。また、千光寺はこの工事で亡くなった人々を弔うために了以が、中院から現在の大堰川沿いに移転し建立したものです。

法要の後、関孝和数学研究所研究員である中井保行氏による講演『吉田光由と塵劫記』がありました。光由は角倉一族で嵯峨に生まれ嵯峨に没した数学者です。塵劫記は1627年に彼が発刊した日常生活に役立つ実用的な算術書で江戸時代のベストセラーと言われるほどの人気でどこの家にもあったそうです。当時すでに円の面積を算出していたことは驚きです。

また、嵯峨小児童は千光寺住職の大林さんの30分のお話には耳を傾け質問には威勢よく答えていました。終始和やかでいい体験学習になったと思います。



塵劫記にある円の面積の計算

夏恒例のハイキングを開催

少年補導嵯峨支部

去る6月12日（日）、少年補導嵯峨支部（少補）では、子どもや保護者向けに夏恒例のハイキングを開催しました。各町から参加した子どもや保護者約190人は新緑の清滝川沿いを落合まで、約4キロの道のりを歩き、健康の増進と住民同士の親睦を図りました。開催に当たり少補では、コロナ感染予防の観点から参加者にマスクの着用を要請しました。一方で「暑くて息苦しい場合は、ずらす」など工夫をお願いし、参加者はそれぞれで自己管理しながらハイキングを楽しんだ様子でした。落合では昼食後、子どもたちはたくさんの



大人が見守るなかで、時間の許す限り川遊びを楽しみ、この日は参加した保護者も子どもたちも地元の自然を大満喫した一日になりました。

花ごよみ



サフラン

（原産地は地中海沿岸・西南アジア地方）
アヤメ科
クロッカス属
別名：番紅花
（ばんこうか）
開花時期
10月～11月

サフランはクロッカスの仲間、球根で成長する植物です。

食用のものをサフラン、鑑賞用のものをクロッカス（ハナサフラン）と分けて呼ばれることがあります。

用途は様々で、香りのよい花なので雌しべを活かして「香料」をつくったり、黄色の染料に使ったりされます。サフランはハーブとしても服用され冷え性緩和や疲労回復など、様々な効果効能があるといわれています。

わが町内 紹介

新企画「わが町内紹介」7回目は、清滝、小倉山、造路です。

1回に3町内ずつ、自治会長に目印、世帯数、わが町内のPR等、書いて頂いています。記事を読まれて新たな発見もあろうかと思えます。皆さまも1度下記の町内を巡られてみては如何でしょうか。なお、順番は「くじ引き」により決定しております。

山紫水明の地 ～清滝～

自治会長 佐竹 敏之



清滝トンネルを抜けると“ほととぎす嵯峨へは一里、京へ三里、水の清滝夜の明けやすき”【与謝野晶子】と詠われているように山紫水明の地が広がっています。

また、愛宕山頂に鎮座する愛宕神社は火廻要慎の神を祀る全国の本社として崇められています。毎年七月の千日詣りには多くの方が参拝されます。また、天然記念物に指定された“清滝ゲンジボタル”が多く飛び交う風情に多くの市民の方が訪れます。

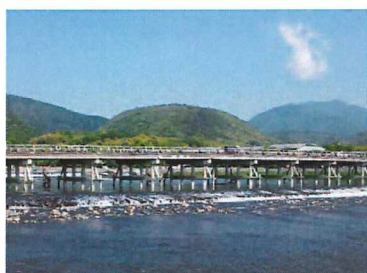
春の新緑、夏の川遊び、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の美しさは嵐山の奥座敷として存在感を放っています。

所帯数は12軒、人口30人とコンパクトなコミュニティならではの町内の横のつながりは深く顔のみえる近所付き合いを大切にしています。



「ほとんどが風致地区です」 ～小倉山～

自治会長 大久保美音



丸太町通の西の先にある嵯峨児童公園付近から西側一帯が、小倉山自治会(約80世帯)で、そのほとんどが風致地区にあたります。

自然豊かな環境ゆえか、ウォーキング、ジョギング、ワンちゃんのお散歩におなじみのコースとなっています。

歴史や文化的な側面から国内外から訪れる方も多く、特に紅葉のシーズンは自転車も押して歩かなければならないほどの大にぎわいになります。

一方、ひっそりとした夜の町内に鹿が訪れていることも度々あります。そんな環境を守るため「地区推進委員会」を中心に検討し、数年前に基本意識をまとめた「小倉山町・町式目」を制定しました。

この式目をもとに、いまある風景を次世代につなげていきたいと思っています。



造路のクロニクル ～造路～

自治会長 加藤 就一



造路町は、瀬戸川(芹川)に架かる龍門橋(歌詰橋)以西の自治会である。その橋は平安時代からあり、西行法師が歌を読み合い、その返歌に詰まった舞台としても有名。『造路』の名前は、応永鈞命絵図(1426年)に既に見られる。室町時代には、天龍寺の主要参道として栄え、多くの寺院に混じり、在家、土倉、酒屋が立ち並ぶ地域であった。嵯峨は水質が良く、17もの酒蔵があり、『嵯峨酒』が作られた。しかし、乱発された徳政令と土一揆により、土倉の経営が悪化し、副業であった酒造も衰退した。造路は古来より、神輿にとって重要な綱の管理を行い、その保管場所に当たる旧造路会議所(旧妙春庵)は、現在のハザードマップから見ても、安全な場所にあり、先人の知恵には驚かされる。



この広報誌は皆様のご好意、ご協力をえた社会福祉賛助会費および共同募金の財源を活用し発行しています。



冷え症による体調不良から身を守ろう

冷え症は、寒い時期の代表的な症状ですが、夏場では服装や食事が冷えに対して無防備になりがちで、低めの温度のエアコンや冷たい飲み物、食べ物などにより、体温の低下や血行不良を起こす人が多く見られます。

9月に入り、体には、夏の疲れがたまっています。昼夜の気温変化も激しくなります。体調管理がむずかしい時期です。

冷えから身を守るためには体を温め、血行を改善する。エアコンの使用は控えめにして、設定温度も高めにしていきましょう。

十分な睡眠をとりましょう。毎日の食事で、ごはんやパン、魚や肉、野菜の3つをそろえて食べる事が大切です。しっかりかんで、食べる習慣も大事です。唾液の分泌を促進して、口腔をきれいに保ち、満腹中枢を刺激して食べ過ぎの予防にもなります。



嵯峨小児童の作品から



1年 中川 果歩
『ふねでともだちのいえにいくよ』



2年 奥村 郁海
『あたらしいこうえんであそんでいるがめん』

令和4年度 9～12月行事予定表

嵯峨社会福祉協議会事業ほか

月	日	曜	行事内容など	備考
9	10	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
	24	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
10	8	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
	22	土	親子のひろば(車イス体験・手話コーナー)	嵯峨小
今年の「嵯峨校児童と高齢者の敬老交流会」は中止です				
11	12	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
	26	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)
12	1～31		令和4年度 右京区社会福祉協議会 賛助会員募集	
	1	木	広報誌「嵯峨の福祉」第133号発行	
	10	土	たくろう会	嵯峨小 10:00～(午前中)

◎すこやかカフェしゃか 毎月第3火曜日10時～12時、場所 西井頭町会議所
9/20、10/18、11/15、12/20

◎カフェくるまみち 毎月第1火曜日10時～12時、場所 JR 嵯峨嵐山駅下ル 京都新聞販売所北
9/6、10/4、11/1、12/6

【注】以上の予定は諸事情により変更となる場合があります。